

(お知らせ)

定期検査中の福島第一原子力発電所5号機圧力抑制室内における  
ボルトの発見・回収について

平成20年2月6日  
東京電力株式会社  
福島第一原子力発電所

当所5号機（沸騰水型、定格出力78万4千キロワット）につきましては、平成20年1月20日より第22回定期検査を実施しておりますが、圧力抑制プール内のクラッド（鉄さび等の金属不純物）回収作業後の確認作業を実施していた協力企業作業員が、本日午前10時10分頃、同プール内でボルト1本（長さ約3cm×直径約2cm）を発見したことから、回収を行いました。

現場を調査したところ、当該ボルトは圧力抑制室内に設置されている温度計\*の端子箱において、予備の穴をふさぐために用いられていたボルトであることがわかりました。

ボルトが落下した原因は、圧力抑制室に配管などで接続されている機器の運転による微振動により緩んだものと推定しております。

対策として、当該ボルトについては落下防止措置を行うことといたします。

以上

\* 温度計

圧力抑制プールの水温度を計測するために設置されている。